

2013. 8. 29

西九州大学発展の方向 ― COC採択を契機に ―

生活支援を軸に、地域にねざし、地域とともに、地域によって発展する大学へ

地域連携センター長 古川 孝順

〔1〕 発展理念の再構築

1. COC事業を大学発展の契機に

エクステンション事業、補助金事業の枠を超える事業

大学の存立、発展の理念の再構築

2. 再構築の方向

「健康と福祉」から「生活支援を軸に、地域にねざし、地域とともに、地域によって発展する大学、西九州大学」へ

〔2〕 社会貢献から地域連携へ

1. 研究 + 教育 + 社会貢献

社会貢献＝上から目線からの脱却

貢献から連携へ

2. ニーズとシーズはレシプロカル

地域にも、大学にも、ニーズがあり、シーズがある

ニーズとシーズは相互規定的に発展する

3. ウインウインの関係

地域も大学も、ともに発展する連携

〔3〕 研究・教育・学修方法の再構築

1. 教室を地域に、地域を教室に

授業形態の再構築

評価方法の再構築

2. 地域にねざした研究の開発

地域にねざした応用研究、実践研究の開発

地域にねざした基礎研究の開発

3. 課題と解決方法の開発と発展

自発的内発的取り組み

現実に学びつつ、現実を変革する方法、手段の開発

〔4〕 地域による大学の発展

1. 大学の格付け

先端科学研究大学 基幹型研究教育大学 実践型研究教育大学
(グローバル志向) (ナショナル志向) (コミュニティ志向)

2. 独自の発展の方向を模索する

地域にねざした教育研究の開発と発展を通じて全国区大学をめざす

地域にねざした教育研究の開発と発展を通じてグローバルな大学をめざす

3. 発展への参画を

傍観から関与へ 参加から参画 (take part in) へ